

豊川市の児童・生徒数と学級数の推移 (愛知県教育年報・学校基本調査より、特別支援学級を含む)

(児童・生徒数)
12500

グラフを見ると、小学校では昭和56、57年、中学校では昭和61年をピークに、児童・生徒数が減少に転じています。豊川市における少子化の影響がわかります。また、近年児童・生徒数に対して学級数が増えているのは、小学校1・2年生と中学校1年生における35人学級の実施と、特別支援学級数の増加の表れです。

平成18年から行われた豊川市と宝飯郡の合併により市域が拡大し、児童・生徒数は増加しましたが、現在でもその数は減少傾向にあります。



